

2019年度 情報理工学部 春期五者懇談会議案書

§1. はじめに

1. はじめに

本議案書は、2019年度春期五者懇談会において提案する要求を記したものである。なお、本議案書を作成するにあたってはGoogleフォームを用いて情報理工学部生(以下、学部生)に対してアンケートを行った。情宣は情報理工学部事務室の協力の下、manaba+R及び情報理工学部事務室前に設置されているデジタルサイネージを用い、並行して情報理工学部自治会及び個人が有するTwitterやLINE等のSNSを用いた。なお、回答期間は13日間とした。その結果、有効回答数は145件であり、学部生全員の人数から考えた場合十分であるとは言えないが、学部生からの貴重な意見であることに相違ないため、本議案書作成の基盤としている。

2. 資料

- ・ 2019年度情報理工学部春期五者懇談会議案書(本議案書)
- ・ 2019年度春期立命館大学情報理工学部学生アンケート集計結果報告書(以下、資料1)
- ・ 2019年度情報理工学部春期五者懇談会改善案資料(以下、資料2)

§2. 教学に関する課題

1. 教科書購入について

多くの科目において、シラバスに教科書の記述があるが、約33%の学部生が教科書を授業内で利用していないと回答している。事実、教科書と参考書の基準が教科及び担当教員により曖昧になっており、一部の授業では教科書を提示しているのにも関わらず授業内で利用しないことから、その購入に疑問を感じる学部生も少なからず存在している。また、約73%の学部生が授業外の学修で利用していないと回答している。授業で配布されたレジュメ等で授業外の学修が可能となっているため、高額な教科書を購入しているにも関わらず、授業外で教科書を有効に活用できていないと考える。したがって以下のことを要求する。

【要求事項】

初回授業で持参することが必須である教科書を特に明示すること。(資料2 図1.シラバス改善案1 参照)

初回授業内にて指定教科書についての使い方等を指導すること。

§3. 教育資源に関する課題

1. manaba+Rについて

情報理工学部生のページの利用に関して、「情報理工学部生のページは便利だと思いますか」という質問に対し、約48%の学部生が「あまりそう思わない」「そう思わない」「使っていない」と回答している。昨年度の情報理工学部五者懇談会において、ページ全体のUIの改善及びコンテンツツリーの名称をはじめとした項目の見直しが合意されたが、依然として改善の余地が残り、事実、manaba+R全般の利便性に関して、約44%の学部生が「昨年不便利だったし、今も不便だ」と回答している。したがって、このページに対して以下のことを要求する。

【要求事項】

コンテンツツリーの名称をはじめとした項目を見直すこと。

「情報理工学部のページ」の内容更新の際に「新着情報」欄へURLを記載した通知を送信すること。(資料2 図2. 新着情報改善案1,図3. 新着情報改善案2 参照)

2. 履修について

多くの科目において、「事前に履修しておくことが望まれる科目」というものが存在し、シラバスにも記載がある。しかし、履修登録しようとしている科目が、他の科目において「事前に履修しておくことが望まれる科目」として挙げられているかがシラバスに記載されていることは極めて少ない。また、昨年度の情報理工学部五者懇談会の合意に基づいて実施されたコース別履修ガイダンスについて、参加したと回答した学部生のうち約54%が「あまり参考にならなかった」「参考にならなかった」と回答しており、内容が適切であったかは疑わしい。また、参加しなかったと回答した学部生のうち約50%が「日程が合わなかった」と回答しており、時期が適切であったかも疑わしい。これらにより、コース別履修ガイダンスが効果的であったかは疑いが残り、また従来のガイダンスのみでは先を見据えた履修科目選択が難しくなっていると考える。したがって以下のことを要求する。

【要求事項】

シラバスに「本科目を履修していることが望まれる科目」を記載すること。(資料2 図4.シラバス改善案2 参照)

今後の学修を円滑に進める上で事前に履修しておくことが望まれる科目について、コース別履修ガイダンスで重点的に説明すること。また、抽選科目の登録が締め切られる前にガイダンスを行うこと。または、コース別ガイダンスの際に合わせてコース別履修ガイダンスを行うこと。

3. プリントステーションについて

現在、プリントステーションはアクロスウィング、フォレストハウス、カラーニングハウスⅠに設置されているが、学部生の需要を満たせているかは疑わしい。情報理工学部の2回生以上の学部生の主な活動場所であるクリエーションコアに、プリントステーションが設置されていないことが、学部生の正課及び課外の積極的な学びを妨げていると考える。実際、「現在設置されている建物のほかに設置してほしい建物はありますか」という質問に対し、約43%の学部生が「クリエーションコア」と回答している。したがって以下のことを要求する。

【要求事項】

プリントステーションをクリエーションコア内に設置すること。

§4. 学部生生活に関する課題

1. クリコアラについて

クリコアラは、学生の多様な学びを支援するとともに、学生が長期滞在できる快適な空間となることを目標として設置されている。しかし、「普段どれくらいの頻度でクリコアラを利用しますか」という質問に対し、「半年に数回」「一年に数回」「使わない」「知らない」と回答した学部生は約81%であった。そのうちの約13%の学部生が、利用しない理由として「飲食禁止だから」と回答している。実際、クリエーションコア1階ラウンジ等の他の学修スペースでは、飲食しながら勉学に励む学部生が多く見受けられ、学生の学びを支援する上では飲食が可能であることが望ましいと考える。したがって以下のことを要求する。

【要求事項】

クリコアラ内における飲食を許可すること。クリコアラ内での制限を撤廃すること。

§5. 別途協議すべき課題

1. キャンパス内禁煙施策について

立命館大学では、健康増進法の改正に伴い、これまでのキャンパス全面禁煙から「特定屋外喫煙場所を除く敷地内禁煙」となり、これは実態に即した形となるため、一定評価できる。一方で、特定屋外喫煙場所の周知方法や、7月1日以降のキャンパス内における喫煙者に対する具体的な対応など検討していくべき課題があると考えます。

2. 各種配属について

現状、情報理工学部におけるコースや研究室等の各種配属において、GPAのみを判断基準として評価する事案が散見される。GPAによる優先順位付け等の措置は、到達度試験等のその他の指標が廃止されている2019年度においてはある程度理解は示すが、議論の余地はあると考えている。実際、アンケートには項目として設けていないが、GPA一辺倒によるコースや研究室等の各配属について、疑問や不満を抱いている学生も一定数存在するため、大学側による丁寧な説明はもちろん、制度の抜本的見直しも議論していくべきではないかと考える。

3. 自治委員選挙について

今年度、春semester自治委員選挙を5月に実施したが、依然運用に関して課題が残されており、そのうち以下の二点に関して協議を行いたい。

3. 1 選挙実施時間の見直し

現状、情報理工学部では「授業末10分間」を授業割愛し、学友会で選出した選挙補佐人が選挙を行う形(以下、クラス投票)で実施している。しかしながら、10分間では選挙を遂行することが出来ず、2~3分程度授業時間を超過する事例が多々発生している。学生及び補佐人が次のコマに授業を受講している場合、超過によって授業に遅刻する恐れがあると考えられるため、以下のことを要求する。

【要求事項】

選挙実施時間を「10分」から「15分」に延長すること。

3. 2 教員に対する選挙実施の周知拡大

今年度選挙実施時に、一つのクラスにおいて、その日に行う授業内容が早く終わったため、授業を選挙実施前に終了し、クラス投票が実施出来なかった事例が発生した。この事例では情報理工学部選挙管理委員長が、選挙区と実施期間を考慮した判断を下し、対象のクラスはピロティー投票(指定場所による投票)となった。しかしながら、クラス投票が行えないことにより、自治委員の選出に影響を及ぼす可能性があると考えられるため、以下のことを要求する。

【要求事項】

教授会でのビラ配布等を含めた、教員に対する選挙実施に関する周知の強化。

なお、情報理工学部自治会及び情報理工学部選挙管理委員会としては、今後も継続して学友会や学生オフィスと電子投票の実施を含めた選挙実施形態に関する議論を行う予定である。

§6. おわりに

本議案書を以て、2019年度情報理工学部自治会が2019年度春期五者懇談会において提示する議案とする。本議案書をもとに、学部長をはじめとした学部の教職員の方々と、現在情報理工学部が抱えている諸問題について共有し、解決するために建設的な議論をしていきたい。